



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 株式会社ファブリカコミュニケーションズ 上場取引所 東 名  
 コード番号 4193 URL <https://www.fabrica-com.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 政人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 渡邊 暁 TEL 052-959-3460  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,648	20.4	258	43.8	263	54.5	165	55.6
2022年3月期第1四半期	1,369	—	180	—	170	—	106	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 166百万円 (56.4%) 2022年3月期第1四半期 106百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	33.25	30.42
2022年3月期第1四半期	23.90	19.77

(注) 1. 当社は、2021年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 2022年3月期第1四半期の各数値については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の数値を記載しております。なお、当社は、2021年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,832	2,453	64.0
2022年3月期	3,762	2,395	63.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,452百万円 2022年3月期 2,395百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	34.00	34.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 29円00銭 記念配当 5円00銭

2. 当社は、2021年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,922	18.2	1,094	18.6	1,098	16.9	702	22.3	140.95

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	5,049,400株	2022年3月期	4,981,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	36株	2022年3月期	36株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	4,981,715株	2022年3月期1Q	4,453,384株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料はTDnetで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. その他 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「2 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおり、会計方針の変更を行っており、遡及処理後の数値で比較分析を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、3月のまん延防止等重点措置の終了を受けて緩やかな景気回復期待が持たれる中、地政学リスクからエネルギーなどの商品価格の値上がりといった懸念も新たに生まれ、依然として不透明な状況が継続しております。

一方、当社グループが属する情報・通信業種におきましては、企業のIT活用の深化や事業モデルの変革が進むことでDX(デジタルトランスフォーメーション)への投資需要が高まっており、今後の市場成長が期待されております。

このような状況の中、当社グループは「テクノロジーで社会の課題を解決する」というミッションのもと、主にSMS配信サービスと中古車販売事業者向けの業務支援サービスを主力事業として顧客の業務効率向上に資するサービスの提供に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,648,660千円(前年同期比20.4%増)、営業利益は258,979千円(同43.8%増)、経常利益は263,816千円(同54.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は165,650千円(同55.6%増)となりました。なお、セグメント別の経営成績につきましては次のとおりであります。

#### (SMSソリューショングループ)

国内の携帯電話事業者全キャリアと直接接続の契約を行い、法人向けにSMS配信サービス「メディアSMS」の提供を行っております。

2022年3月期に引き続きSMSが企業と顧客を繋ぐ新たなコミュニケーション手段として幅広い分野で活用され、さらに自治体において新型コロナウイルス感染者への連絡手段としてSMS活用が進んだ結果、当第1四半期連結累計期間のSMSソリューショングループの売上高は978,139千円(同36.1%増)となり、セグメント利益は279,286千円(同37.0%増)となりました。

#### (U-CARソリューショングループ)

中古車販売業務支援クラウドサービス「symphony」を提供し、自動車アフターサービスに関連する事業者のビジネスを支援しております。

営業基盤を強化し、symphony導入社数が2022年3月期末から116社増加して3,441社となった結果、当第1四半期連結累計期間のU-CARソリューショングループの売上高は304,815千円(同12.6%増)となり、セグメント利益は89,516千円(同22.7%増)となりました。

#### (インターネットサービスグループ)

他セグメントへのWEB集客支援を担っているほか、独自でも自動車WEBマガジンの運営や、中古車一括査定サービスの提供を行っております。

2021年6月に実施されたGoogle検索アルゴリズムのアップデートによる当社Webサイトの検索結果順位下落の影響から回復しつつあり、またコスト削減施策を進めた結果、当第1四半期連結累計期間のインターネットサービスグループの売上高は59,558千円(同3.0%減)となり、セグメント損失は4,106千円(前年同期は17,421千円の損失)となりました。

#### (オートサービスグループ)

事故で損害を受けた自動車の修理、代車貸出、レッカーのワンストップサービスの提供と、指定工場(中指第6020号)にて自動車整備事業を行っております。

新型コロナウイルス感染症により車両部品の納期が遅れ、自動車修理期間が延びていることに加え、浜松支店の出店や人員増強によるコスト負担が増加した結果、当第1四半期連結累計期間のオートサービスグループの売上高は306,145千円(前年同期比3.9%減)となり、セグメント利益は12,985千円(同53.0%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産合計は、3,832,203千円となり、前連結会計年度末に比べ69,236

千円増加いたしました。

これは主に、商品及び製品が20,661千円増加したこと及び有形固定資産のその他（純額）が18,214千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,378,688千円となり、前連結会計年度末に比べ11,572千円増加いたしました。

これは主に、支払手形及び買掛金が7,730千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,453,515千円となり、前連結会計年度末に比べ57,663千円増加いたしました。

これは主に、ストックオプションの行使に伴い、資本金7,455千円、資本剰余金7,455千円がそれぞれ増加したこと及び利益剰余金が41,126千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,296,105	2,232,252
受取手形、売掛金及び契約資産	598,099	590,760
商品及び製品	37,262	57,924
仕掛品	222	690
原材料及び貯蔵品	3,149	2,675
その他	188,143	287,417
貸倒引当金	△3,047	△3,149
流動資産合計	3,119,935	3,168,570
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	158,429	158,429
その他(純額)	148,649	166,864
有形固定資産合計	307,078	325,293
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	83,075	90,036
その他	49,286	53,344
無形固定資産合計	132,362	143,380
<b>投資その他の資産</b>		
投資その他の資産	203,033	194,668
貸倒引当金	△1,231	△1,223
投資その他の資産合計	201,801	193,444
固定資産合計	641,242	662,118
繰延資産	1,789	1,514
資産合計	3,762,967	3,832,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	356,854	364,584
1年内償還予定の社債	65,000	65,000
1年内返済予定の長期借入金	94,064	92,400
未払法人税等	204,694	90,265
ポイント引当金	63,387	62,833
賞与引当金	9,960	8,496
その他	294,671	436,004
流動負債合計	1,088,632	1,119,583
固定負債		
社債	80,000	70,000
長期借入金	146,668	123,568
資産除去債務	26,366	27,808
その他	25,449	37,728
固定負債合計	278,483	259,104
負債合計	1,367,115	1,378,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	617,442	624,897
資本剰余金	556,462	563,917
利益剰余金	1,222,114	1,263,240
自己株式	△167	△167
株主資本合計	2,395,851	2,451,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	784
その他の包括利益累計額	—	784
新株予約権	—	841
純資産合計	2,395,851	2,453,515
負債純資産合計	3,762,967	3,832,203

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,369,445	1,648,660
売上原価	639,300	779,966
売上総利益	730,145	868,693
販売費及び一般管理費	550,069	609,713
営業利益	180,075	258,979
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	5
受取家賃	1,805	1,805
固定資産売却益	254	4,357
その他	610	1,143
営業外収益合計	2,678	7,312
営業外費用		
支払利息	828	463
貸貸収入原価	562	562
株式交付費	6,342	—
固定資産除却損	3,048	—
リース解約損	45	617
その他	1,177	831
営業外費用合計	12,004	2,475
経常利益	170,749	263,816
特別損失		
減損損失	—	2,227
特別損失合計	—	2,227
税金等調整前四半期純利益	170,749	261,589
法人税、住民税及び事業税	57,753	85,879
法人税等調整額	6,559	10,058
法人税等合計	64,312	95,938
四半期純利益	106,436	165,650
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,436	165,650



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	106,436	165,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	784
その他の包括利益合計	△13	784
四半期包括利益	106,423	166,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,423	166,435

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算については、従来、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、グループ内の配当方針の見直しを行った結果、第1四半期連結累計期間の税引前四半期純利益に対する子会社からの配当金等永久に益金に算入されない項目の割合が年度の見積実効税率の算出における割合に比べてより高まることに伴い、年度の見積実効税率による方法では、四半期連結累計期間に係る連結グループの経営成績を適切に反映することが出来ないと判断し、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法に変更しております。

当該会計方針の変更に関して遡及適用を行っており、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書における法人税等は遡及適用後の金額となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書における法人税等が20,920千円減少し、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が同額増加しております。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SMS ソリューション グループ	U-CAR ソリューション グループ	インター ネット サービス グループ	オート サービス グループ	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	718,677	270,724	61,401	250,448	1,301,251	—	1,301,251
その他の収益	—	—	—	68,193	68,193	—	68,193
外部顧客への売上高	718,677	270,724	61,401	318,641	1,369,445	—	1,369,445
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,170	—	12,298	—	16,468	△16,468	—
計	722,848	270,724	73,699	318,641	1,385,913	△16,468	1,369,445
セグメント利益又は損失(△)	203,819	72,955	△17,421	27,634	286,987	△106,911	180,075

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,911千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及びセグメント間取引消去となります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SMS ソリューション グループ	U-CAR ソリューション グループ	インター ネット サービス グループ	オート サービス グループ	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	978,139	304,815	59,558	238,600	1,581,114	—	1,581,114
その他の収益	—	—	—	67,545	67,545	—	67,545
外部顧客への売上高	978,139	304,815	59,558	306,145	1,648,660	—	1,648,660
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,891	—	11,816	—	19,708	△19,708	—
計	986,031	304,815	71,375	306,145	1,668,368	△19,708	1,648,660
セグメント利益又は損失(△)	279,286	89,516	△4,106	12,985	377,681	△118,701	258,979

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△118,701千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及びセグメント間取引消去となります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

該当事項はありません。